

第16回 がん患者大集会

「すい臓がんとチーム医療」

2020年11月22日(日)

配信開始:12時半, 開始:13時, 終了:16時半(予定)

オンライン配信
ZOOMウェビナー使用
参加費無料

1部 講演:「すい臓がんの治療と早期発見」

- ・花田敬士先生(JA尾道総合病院消化器内科)・「すい臓がんの早期発見について」
- ・森実千種先生(国立がん研究センター希少がんセンター/中央病院肝胆膵内科)・「すい臓がんの最新の治療」
- ・眞島喜幸氏(NPO法人パンキャンジャパン 理事長)・「膵臓がん生存率向上のために私たちにできること」

2部 シンポジウム:「がん患者を支えるチーム医療」

コーディネーター:下井辰徳先生(国立がん研究センター希少がんセンター)

シンポジスト:眞島喜幸氏(すい臓がん体験者)、半田一登氏(チーム医療推進協議会代表)、

中嶋崇博氏(山梨県立中央病院言語聴覚士)、馬場知子氏(自治医科大学附属さいたま医療センター公認心理師)、

宮本直治氏(薬剤師 胃がん体験者)、實原和希氏(舌がん体験者)

第16回がん患者大集会は、がん患者の中でも早期発見が困難で治療が難しいすい臓がんについて学び、理解を深める事と、「がん患者を支えるチーム医療」についてがん患者、家族、医療関係者等がより理解を深める事を目的としています。

視聴参加申し込み方法

下記のホームページの申し込みフォームまたはQRコードから申し込みください。

<http://www.canps.jp>



【主催】特定非営利活動法人がん患者団体支援機構・第16回がん患者大集会実行委員会

【協力】国立がん研究センター希少がんセンター

【後援】厚生労働省、文部科学省、(公社)日本医師会、(公社)日本看護協会、(公社)日本薬剤師会 NPO 法人パンキャンジャパン 他

連絡先

【東京事務局】〒154-0002 東京都世田谷区下馬5丁目28番7号

TEL: 03-5787-6411 FAX: 03-5787-6420 Mail: info@canps.jp

【尾道事務局】〒722-0022 広島県尾道市栗原町5901-1 浜中皮ふ科クリニック内

TEL: 0848-24-2413 FAX: 0848-24-2423 Mail: hmnkk@do8.enjoy.ne.jp

Canps
Cancer Patients
Support Organization

1部 講演者紹介



花田敬士先生(JA尾道総合病院消化器内科、診療部長(経費改善担当)、内視鏡センター長、遺伝子診療部部长) 島根医科大学出身。
資格: 日本内科学会・総合内科専門医・指導医、日本消化器病学会・指導医、日本消化器内視鏡学会・指導医、日本胆道学会・指導医、日本膵臓学会・指導医、日本臨床腫瘍学会・暫定教育医、日本がん治療認定医機構暫定指導医・認定医、日本医師会認定産業医



森実千種先生
(国立がん研究センター希少がんセンター/中央病院肝胆膵内科)
専門医・認定医資格: 医学博士、日本内科学会認定内科医、日本臨床腫瘍学会がん薬物療法専門医



眞島喜幸氏(NPO法人パンキャンジャパン 理事長 (一社)日本希少がん患者会ネットワーク 理事長)
Ottawa University、UCLA School of Public Health 修士修了後、Rand Corporationにて健康政策分析プロジェクトに参画。
2006年に実妹を膵臓がんで亡くし、米国のPancreatic Cancer Action Networkの日本支部(PanCAN Japan)を設立。
2012年に膵臓がんが見つかり全摘手術を受けた。2018年に頭頸部がんが見つかり、放射線化学療法を受け現在に至る。
国際標準治療薬の早期承認に向けたドラッグラグ解消、ゲノム医療の普及に向けた政策提言活動に注力している。

2部 シンポジスト紹介



コーディネーター: **下井辰徳先生**
(国立がん研究センター希少がんセンター / 中央病院乳腺・腫瘍内科)

専門医・認定医資格: 日本内科学会指導医、総合内科専門医、認定内科医、日本臨床腫瘍学会指導医、がん薬物療法専門医、日本乳癌学会乳腺認定医、日本がん治療認定機構認定医、マンモグラフィ読影認定医



半田一登氏(チーム医療推進協議会代表)

1987年(社)日本理学療法士協会理事就任。2007年(社)日本理学療法士協会会長就任。2012年(公社)日本理学療法士協会 会長就任、現在に至る。ほか、チーム医療推進協議会代表、(一財)訪問リハビリテーション振興財団理事長、厚労省 医道審議会理学療法士作業療法士分科会 委員、中央社会保険医療協議会 専門委員を務める。



宮本直治氏(薬剤師)

大阪市・北野病院薬剤部入局。長年精神科病棟を担当。2007年胃がん手術を受け、その後がん患者グループゆずりはに入会。2011年より同グループ代表。2020年医療と暮らしを考える会を神戸市で設立。現在に至る。がん患者グループゆずりは(兵庫県芦屋市)代表、医療と暮らしを考える会(神戸市)理事長、がん患者団体支援機構副理事長、日本ホスピス・在宅ケア研究会理事、宿坊で語り合うガン患者の集い主宰、ビハラー僧(浄土真宗僧侶)、薬剤師



中嶋崇博氏(山梨県立中央病院言語聴覚士)

2010年帝京平成大学健康メディカル学部言語聴覚学科卒業。八千代リハビリテーション病院入職、介護老人保健施設フルリールむかわ入職を経て2014年4月より現職である地方独立行政法人山梨県立病院機構山梨県立中央病院入職。資格: 日本摂食嚥下リハビリテーション学会認定士、がん専門医療人材養成プラン/インテンシブコース修了、緩和ケア研修会修了(PEACE)、学習療法士1級、JIMTEF 災害医療研修ベシク/アドバンスコース修了



馬場知子氏(自治医科大学附属さいたま医療センター 公認心理師)

2009年上智大学大学院総合科学部心理学研究科修士課程修了し同年4月から2010年3月国立がんセンター(現国立がん研究センター)精神腫瘍学開発部心理療法士として勤務。2010年4月から2012年3月国立がん研究センター中央病院精神腫瘍科心理療法士として勤務し2012年4月より自治医科大学附属さいたま医療センター公認心理師
専門分野: コンサルテーション・リエゾン分野



實原和希氏(舌がん体験者)

さいたま市在住、米国公認会計士。会計士として日系企業のベトナム進出をサポートする傍ら、保険代理業やがん研修事業を行う会社を経営。2015年、当時25歳で舌がんを罹患し、皮弁再建手術を受ける。コロナ禍の2020年6月に結婚、現在妻と二人暮らし。



司会者: **福智木蘭さん**(NPO法人がん患者団体支援機構理事)
24年前「鼻中隔がん」で大手術。顔の真中はスッポリ空洞、嗅覚無し。Net-TV「CanpsStation」「リライフ談話室」パーソナリティー、歌手、司会、シンガーソングライター。「頭頸部がん患者と家族の会 Nicotto(ニコット)」会長